

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 4年 3月 10日 アンケート期間:令和 4年 2月 9日～平成 4年 2月 17日

事業所名 ジーニアスタディ瑞穂校 保護者等数(児童数)50 回収数35 割合 70%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	5	0	3	他施設と比べても広い	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	5	0	6	分からない	職員の研修を行う、 人員増加
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	2	2	12		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	27	5	1	0	為されているが、退職者？異動者？が多く不安を感じる	会社として職員の異動が短期間であることを考える必要がある
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	23	7	0	1	活動内容多い、外出場所多い	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	8	17	コロナ禍のため困難、必要性を感じない	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	4	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	2	2	0	子ども間のトラブルを見ているのか疑問	適切に子ども同士のトラブルも報告し対応策についても伝える
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	6	4	1	コロナ禍のため困難、助言が多く助かる、電話でもできると思う	面談、連絡帳にて密に行う
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	5	12	13	コロナ禍のため困難、無くて良い、プライバシーの観点から難しい	ソーシャルディスタンスの兼ね合いで少人数になるが作品展などを開催している
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	3	2	5	子の情報、親の要望などスタッフ全員に共有の徹底をして貰いたい、子ども間のトラブルを見ているのか疑問	要望に応えることをスタッフと共有する。応えられないことは説明し理解していただく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	4	1	0	しばしば伝わっているのか分からないときがある	必ず返答するようスタッフ間で共有する
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	30	2	0	2	子どもの活動内容が分かりやすい	
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	27	4	0	3		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	5	4	8		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	5	0	9	定期的に行っていると思うが、全ての職員と子どもが実際に被災した時に実践できる水準には至っていない。	訓練を重ね、体で覚えていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	30	2	0	0	毎日、行きたいと楽しみにしている	
	18 事業所の支援に満足しているか	30	3	0	0	満足している	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。